



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



賛美

「神の家族」

「私たちは一つ」

「救い主イエスと」 聖歌590

「インマヌエル」

「静まって知れ」

献金

牧会祈禱&の祈り

使徒信条

洗礼式 受洗者: 金子艶子

聖書箇所 ヨシュア記3章14節~17節 Perry 紀子

メッセージ「輝き続ける教会⑤ ヨルダン川を渡れ」

関真士牧師

聖餐式

賛美 「主の教会よ」

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週教育館2階) 初めての方もどうぞご参加ください。
- 本日は、礼拝式の中で金子艶子さんが洗礼を受けます。おめでとうございます！
- 本日 11:30AMよりHCCファミリーミーティングがあります。どなたもぜひご参加ください。
- ファミリーミーティングの後、続いて執事会が持たれます。
- Ryan & Erika Chingh家族は、5月20日に沖縄に引っ越すことになりました。
- 来週は「母の日」です。

献金



風の吹くままに

▼星野富弘さんが4月30日 召天されました。78歳でした。

星野さんは、20代、中学の体育教師だった時に事故で首から下が麻痺してしまいました。絶望の淵に投げ込まれましたが、そこでイエス・キリストに出会い、生きる希望を見い出しました。

やがて絵筆を口にくわえて花の絵と詩を描くようになりました。その詩画は多くの人の心を打つようになり、故郷の群馬県には富弘美術館が設立され、33年間に700万人を超える来場者があったそうです。富弘さんは、1997年、2000年と2度ハワイにも訪れて「花の詩画展」が開かれています。

富弘さんの傷から神の愛と癒しが流れていく。まさにキリストの証人として歩まれた生涯でした。

富弘さんの詩画をご存知ない方は、この機会に是非ご覧ください。教会の図書にも蔵書があります。

「花が 上を向いて咲いている 私は上を向いてねている あたりまえのことだけれど 神さまの深い愛を感じる」 詩:星野富弘



関真士牧師
sekishinji89@gmail.com

2023年度聖句

神の命令を守ること、それが神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。ヨハネの手紙 5章3節

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①聖霊は空の器に注がれます。どうなることが、空の器になることなのでしょう。

②聖霊に満たされている者の特徴の一つは、「有るものを有る。無いものを無い。」と言えることです。あなたは、そのことが明確に自覚できますか。

③私たちは、「契約の箱を担ぐ祭司たち」です。神の臨在を持ち運ぶ者たちです。その自覚を新たにしましょう。

ヨシュア記3章14節～17節

民がヨルダン川を渡ろうとして彼らの天幕から出発したとき、契約の箱を担ぐ祭司たちは民の先頭にいた。箱を担ぐ者たちがヨルダン川まで来たとき、ヨルダン川は刈り入れの期間中で、どこの川岸にも水があふれていた。ところが、箱を担ぐ祭司たちの足が水際の水に浸ると、川上から流れ下る水が立ち止まった。一つの堰が、はるかかなた、ツアレタンのそばにある町アダムで立ち上がり、アラバの海、すなわち塩の海へ流れ下る水は完全にせき止められて、民はエリコに面したところを渡った。主の契約の箱を担ぐ祭司たちは、ヨルダン川の真ん中の乾いたところにしっかりと立ち止まった。イスラエル全体は乾いたところを渡り、ついに民全員がヨルダン川を渡り終えた。

引用聖句

使徒の働き2章1節～4節

Ⅱ 列王記4章1節～7節

使徒の働き2章38節～41節

ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822

日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email: office@honoluluchristian.church



ホノルルキリスト教会 2024年5月5日

週報



詩篇103篇1,2節

わがたましいよ 主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ 聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ 主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。